～ニューヨーク補習授業校だより～

JWSNYの爽風

令和４年(2022)
11月12日発行

Breeze
第⑥号

校長　川﨑淳一郎



違いやよさを認め それぞれの彩りを力に！




◇アメリカも日本も紅葉が落ち葉になり、街中には赤、黄色、オレンジ、黄緑、緑、茶色等いろいろな色が見られます。授業でも色を変える仕組みやその物質についても学んでいます。先日、高校生にアメリカと日本で色の使い方や表現の違いについて聞きました。

（１）日本の信号機では、「青」だが、アメリカでは「緑」である。（青リンゴも同じ）
（２）日本では子どもが太陽の絵を描くときに「赤」が多いが、アメリカは「黄」
（３）日本で肌色（はだいろ）の色鉛筆やクレヨンがあったが、アメリカにはない。
（４）日本の砂浜は「白」のイメージ、アメリカは「黄」　等教えてくれました！

◇補習校では、現地校で学んでいる子ども達に授業を通して日本の文化や考え方を教えています。それぞれの学校から学んだことを将来何か乗り越えようとするときに考えを出す引き出しは多くなります。いろいろな角度から物事を見ていける力が身につきます。

【令和５年度 W校入園・入学説明会開催!!】※11月５日（土）～ W校図書室にて ～










○W校では、午前中２回、中高等部向けと幼初等部向けの説明会を行いました。学校概要説明後、保護者から数々の質問があり活発な会になりました。その後、教室をまわり、授業を見ていただきました。本校は日本文化から礼儀や立ち振る舞いを学び、アメリカ文化から積極的な発言の態度を学んだ子ども達が、両方のよさを知り、確かな学力や考える力を身につけています。その様子を見た保護者から「参加できてよかった」「子どもの態度がいいですね」と感想をいただきました。

【ＬＩ校：秋祭り】※１１月５日（土）












○秋まつり委員会の保護者の方々が、長い期間準備を行い、運動会に続くＬＩ校の大イベントが３年ぶりに行われました。幼児部～中高等部まで時間を分け、決まった時間にカフェテリアにある会場でゲームコーナーやお買い物を体験しました。幼児部さん作成の御神輿でスタート、大きな拍手で迎えられていました。日本の駄菓子も買うことができました。

【第４３回海外子女文芸作品コンクール】





・６月締め切りで海外子女教育財団の作品募集に応募したNY補習授業校入選者が、11月１日発行の「海外子女教育」機関誌の中で発表されました。右記の児童生徒、８人が選ばれました。多くの作文、短歌、俳句、詩の応募ありがとうございました。自分の体験を立派に表現していました。全世界１９７校、２３，８８１点の中、５００点の入賞者がありました。詳しくは次のアドレスからご参照ください。
https://www.joesor.jp/kojin/bungei

≪ 入選者 ≫

短歌	特選	ＬＩ校中３－１	髙橋　勇登　くん
詩	優秀	ＬＩ校中２－１	平形歌理奈　さん
俳句	佳作	W校初５－２	中島　寛明　くん
俳句	佳作	W校初４－２	足永　里菜　さん
俳句	佳作	W校初４－２	ｷｬﾄﾞﾜﾗﾀﾞｰ　かな　さん
短歌	佳作	W校初４－２	久木田　翼　さん
俳句	佳作	W校初４－２	ｳｨﾝ　ｾｵﾄﾞｱ　くん
俳句	佳作	W校初２－１	谷内　結花　さん

【絵画作品展示】



〇８月中旬に絵画コンクールの審査が行われ、W校は１０月８日～２２の学級懇談時に2F 廊下にＬＩ校は、音読発表時にカフェテリア等に掲示されました。ご参観ありがとうございました。









＜ＬＩ校ハロウィーン仮装＞











◇１０月２９日（土）ＬＩ校へ決められたルールで子ども達は仮装をして登校しました。各学年それぞれの企画で１日を楽しみました。中高等部では、クラスごとにテーマを決め、投票して優勝クラスの表彰がありました。

＜ＬＩ校初等部音読発表会＞





◇ＬＩ校初等部では、教科書や本などから選んだ文章を授業で練習して発表しています。１０月から１月まで、６年生から始まり、幼児部まで行います。大きな声で立派な態度の発表でした。

＜W校：☆お店屋さんごっこ☆＞









※１０月２２日（土）

◇小ジム

保護者参加
年長さくら組
年中うさぎ組



〇幼児部の子どもたちは、先生やお家の人と準備をしてきた「お店屋さんごっこ」が行なわれました。年長さんはお店の人になり、手作りお菓子と食べ物、洋服、アクセサリー、おもちゃなどを店先に並べました。年中さんはお客さんになり、買い物バッグとごっこ紙幣をもってお買い物をしました。しっかりとお客さんを「いらっしゃいませ！」と迎え、「いくらですか？」「〇〇えんです。」と貴重な買い物体験を楽しむことができました。